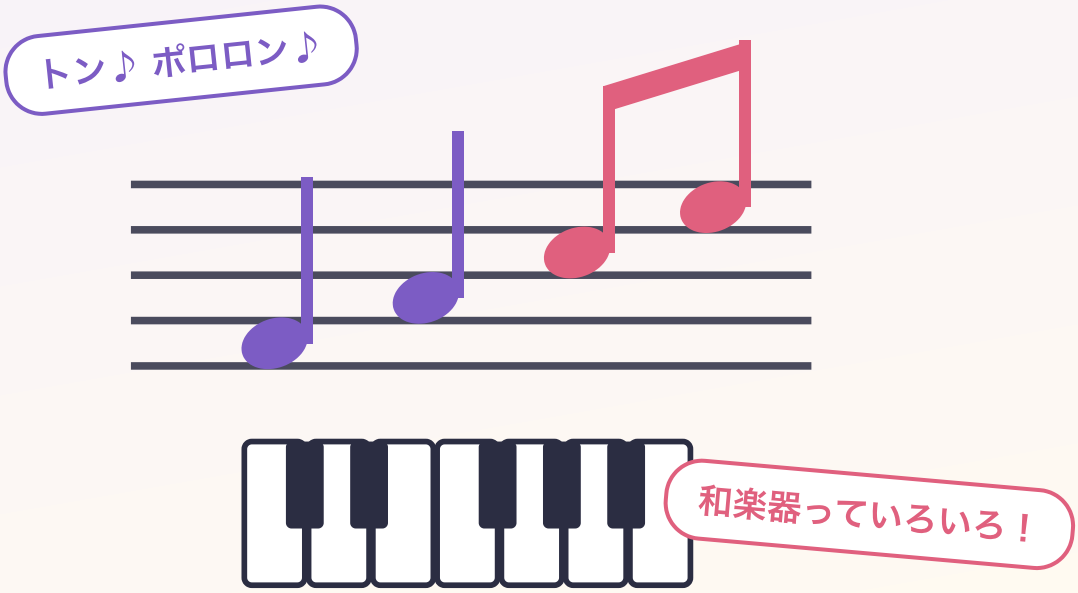
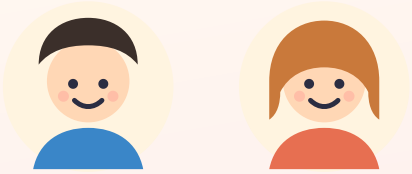
Season 7 | No.62



和楽器の種類

日本で育った楽器たちに出会おう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

和楽器の世界 3〜6
音と材料 7〜10
和楽器を知る 11〜16
和楽器とであう 17〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

和楽器ってなに？

和楽器は、日本で古くから使われてきた楽器です。

和楽器とは、**日本で古くから使われてきた楽器**のことです。
箏（こと）や三味線（しゃみせん）、和太鼓（わだいこ）など、種類はとても豊富です。お正月や祭りなど、気づかないうちに耳にしていることも多い楽器たちです。



身近な和楽器の音

お正月のお箏の音楽　祭りの和太鼓　おそば屋さんの笛の音　除夜の鐘　盆踊りのお囃子

テレビや街の中でも、和楽器の音は意外と身近に流れています。

ポイント

- 和楽器は、弦楽器・管楽器・打楽器の3つに大きく分けられます。
- 多くは木や竹、動物の皮など、自然の材料でつくられています。
- 地域や時代によって、いろいろな和楽器が生まれてきました。

やってみよう

1. 知っている和楽器の名前を、思いつくだけ書いてみよう。

2. お正月にテレビやお店で流れる曲を思い出してみよう。どんな楽器の音がしましたか。

ワンポイント　「わがっき」と読みます。もとは海外から伝わり、日本で独自に発展した楽器も和楽器とよばれます。

書いて覚えよう

Lesson 2

弦楽器（箏・三味線・琵琶）

弦を鳴らして音を出す楽器を知ろう。

箏

13本の弦を持つ、横に長い楽器。指につけた爪ではじく

三味線

3本の糸を持つ楽器。ばちで糸をはじいたり打ったりする

琵琶

4〜5本の弦を持つ楽器。大きなばちで糸をかき鳴らす



Ken
琵琶って、物語を語りながら演奏することもあるんだって。

Emma
楽器なのに、お話も聞けるなんておもしろいね。



ポイント

- 弦楽器は、張った糸や弦をはじいたり、こすったりして音を出します。
- 和楽器の弦には、絹（きぬ）やナイロンなどが使われます。

やってみよう

1. 3つの弦楽器の中で、いちばん興味があるのはどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 理由も書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 3

管楽器（尺八・篠笛・笙）

息を吹きこんで音を出す楽器を知ろう。

尺八

竹でできた縦笛。息の吹きこみ方で音色を変える

篠笛

竹でできた横笛。祭りや歌舞伎の音楽でよく使われる

笙

竹を円形に並べた楽器。いくつもの音を同時に鳴らせる

ポイント

- 管楽器は、息を吹きこんで空気をふるわせ、音を出します。
- 竹でできたものが多く、穴の数やふさぎ方で音の高さが変わります。
- 笙は、和音（複数の音の重なり）を出せる、めずらしい和楽器です。

やってみよう

1. 3つの管楽器の中で、聴いてみたい音はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. ペットボトルの口に息を吹きかけて、音を出してみよう。

ワンポイント 尺八はたてに、篠笛は横に構えます。持ち方のちがいで、見た目からも区別できます。

書いて覚えよう

Lesson 4

打楽器（和太鼓・鼓）

たたいて音を出す楽器を知ろう。

和太鼓

木の胴に皮を張った太鼓。ばちで打って音を出す

締太鼓

ひもやボルトで皮を強く張った、高めの音の太鼓

鼓（つづみ）

砂時計のような形の小さな太鼓。ひもの締め方で音を変える

ポイント

- 打楽器は、たたいたり打ちつけたりして音を出します。
- 太鼓の皮の張り方や大きさで、音の高さや響きが変わります。

やってみよう

1. 机やひざを手でたたいて、和太鼓の音をまねしてみよう。
2. たたく強さを変えると、どう音が変わりますか。

ワンポイント 和太鼓の胴は、木をくりぬいてつくられることが多く、皮には牛の皮が使われます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 5

それぞれの材料

和楽器は、身近な自然の材料からできています。

楽器	主な材料
箏	桐（きり）の木、絹やナイロンの糸
三味線	花梨や紫檀の木、皮
尺八	竹（真竹）
和太鼓	けやきなどの木、牛の皮

ポイント

- 和楽器の多くは、日本で身近だった木や竹、動物の皮からつくられています。
- 材料の育て方や乾かし方によって、音の響きが変わります。

やってみよう

1. 身のまわりで、木・竹・皮でできているものを探してみよう。

ワンポイント 三味線の皮は、昔からの動物の皮に加えて、今では合成皮を使うものも増えています。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 6

音の出るしくみ

楽器の音は、ふるえ（振動）から生まれます。

振動
しんどう
物がふるえて音のもとになること

共鳴
きょうめい
ふるえが伝わって大きく響くこと

ポイント

- 弦楽器は、弦がふるえることで音が出ます。
- 管楽器は、管の中の空気がふるえることで音が出ます。
- 打楽器は、張った皮や胴がふるえることで音が出ます。

やってみよう

1. わりばしを2本たたいて、音を出してみよう。強さで音がどう変わるか書こう。

ワンポイント ふるえが空気に伝わり、耳に届くことで、私たちは音として感じています。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 7

和楽器の音色

楽器によって、音の感じはまったくちがいます。

楽器	音色の感じ
箏	やわらかく、澄んだ音
三味線	はじけるような、鋭い音
尺八	息の音がまじった、深みのある音
和太鼓	力強く、体にひびく音

ポイント

- 同じ「和楽器」でも、音色（音の感じ）は楽器ごとにまったくちがいます。
- 材料や形、弾き方・吹き方・打ち方で、音色が変わります。

やってみよう

1. 上の表の中で、いちばん好きな音色はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 理由を書こう。

書いて覚えよう

Lesson 8-9

和楽器と季節・地域の和楽器

和楽器は、季節や土地とも深くつながっています。

季節と和楽器

お正月
箏の曲がよく流れる

夏祭り
和太鼓や篠笛が活やくする

秋
収穫を祝う地域の太鼓もある

地域と和楽器

津軽（青森）
津軽三味線が有名

佐渡（新潟）
佐渡おけさと太鼓

沖縄
三線（さんしん）という楽器がある

ポイント

- 和楽器は、季節の行事と深く結びついています。
- 地域によって、よく使われる和楽器や演奏スタイルがちがいます。

やってみよう

1. 自分の住む地域に伝わる和楽器や音楽を知っていたら書こう。

ワンポイント 季節の行事に足を運ぶと、生の和楽器の音に出会えることがあります。

書いて覚えよう

Lesson 10

和楽器の数え方

和楽器には、独特の数え方があります。

和楽器の数え方

箏＝1面（めん）　三味線＝1挺（ちょう）　太鼓＝1張（はり）　笛＝1管（かん）

数え方を知ると、演奏会のプログラムを読むときにも役立ちます。

ポイント

- 日本語には、物によって数え方（助数詞）が変わるという特徴があります。
- 和楽器の数え方は、楽器の形や種類に関係しています。

やってみよう

1. 身近な物（本・車・動物など）の数え方を3つ書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 11

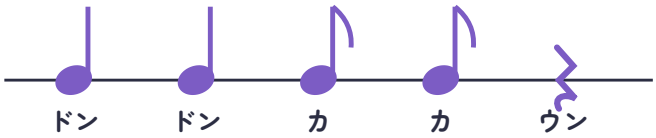
和楽器の楽譜

和楽器には、独自の楽譜やリズムの覚え方があります。

文化譜
ぶんかふ
三味線の楽譜。数字で指の位置を表す

口唱歌
くちしょうが
リズムを声の言葉で覚える方法

リズムを声で覚えよう



和太鼓の世界では、こうした声の言葉（口唱歌）でリズムを覚えることがよくあります。

ポイント

- 和楽器の多くは、五線譜とはちがう、独自の楽譜（記譜法）を持っています。
- 口唱歌のように、声に出してリズムを覚える方法も昔から使われてきました。

やってみよう

1. 上のリズムを、手拍子と声で3回くり返そう。

書いて覚えよう

Lesson 12

和楽器の手入れ

自然の材料でできた楽器は、ていねいな手入れが大切です。

ポイント

- 木や竹、皮でできた和楽器は、湿度や温度の変化に弱いものが多いです。
- 弾いたあとは、やわらかい布でふいて、汗や汚れを取ります。
- 直射日光や急な温度変化をさけて保管します。

やってみよう

1. 家にある木製の道具（お箸・お椀など）を、どう大切に使っているか書こう。

ワンポイント 皮を使った楽器は、湿気を吸うと音が変わることがあります。楽器店の職人が調整を行っています。

書いて覚えよう

Lesson 13

和楽器と洋楽器のちがい

和楽器と洋楽器は、育った場所も特徴もちがいます。

和楽器

日本で育った楽器

独自の音階
五音音階など

自然の材料
木・竹・皮が中心

独自の記譜法
文化譜・口唱歌など

洋楽器

西洋で育った楽器

ドレミの音階
7音音階が基本

幅広い素材
金属や合成素材も

五線譜
世界共通の楽譜

ポイント

- どちらが優れているというものではなく、それぞれに合った表現があります。
- 現代では、和楽器と洋楽器を組み合わせた音楽も増えています。

やってみよう

1. 和楽器と洋楽器、両方を使った音楽を聴いたことがあれば書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
14

和楽器の合奏

和楽器を組み合わせると、音の重なりが生まれます。



Ken

箏と尺八と三味線が一緒に演奏するのを聴いたことあるよ。

Emma

三曲合奏（さんきょくがっそう）っていうんだよね。音の重なりがきれいだった。



ポイント

- いくつかの和楽器を組み合わせて演奏することを合奏といいます。
- 箏・三味線・尺八を組み合わせる合奏は「三曲合奏」とよばれます。
- 雅楽のように、多くの和楽器が一緒に演奏する音楽もあります。

やってみよう

1. 3つ以上の和楽器が一緒に演奏したら、どんな響きになると思いますか。

書いて覚えよう

Lesson 15

現代の和楽器バンド

和楽器は、新しい表現にも使われています。

和楽器の新しい形

近年は、和楽器を使ったバンドやオーケストラとの共演など、新しい形の演奏も広がっています。
伝統的な奏法を生かしながら、現代的なリズムと組み合わせる試みも増えています。

伝統を守りながら、新しい表現にも挑戦しているのです。

ポイント

- 和楽器は、伝統的な音楽だけでなく、現代の音楽にも使われています。
- 若い演奏家の中には、和楽器の新しい魅力を広めようとする人もいます。

やってみよう

1. 和楽器と現代的な音楽を組み合わせたら、どんな曲になりそうか想像して書こう。

書いて覚えよう

Lesson 16-17

和楽器を見に行こう・体験しよう

本物にふれると、新しい発見があります。

コンサートホール

和楽器の演奏会が開かれることがある

神社やお寺

雅楽や太鼓の奉納演奏を見られることも

体験教室

箏や三味線を教えてくれる教室がある

学校の授業

音楽の授業で和楽器にふれることがある

博物館

楽器そのものを展示している場所もある

動画

演奏の映像で音と姿を見られる

ポイント

- 実際に見たり聴いたりすると、本だけではわからない発見があります。
- 体験教室では、初めての人でも楽器にふれさせてもらえることがあります。

やってみよう

1. 近くで和楽器にふれられそうな場所を、家の人と一緒に調べてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 18

和楽器の魅力

和楽器には、長い時間をこえて伝わる魅力があります。

ポイント

- 長い歴史の中で、多くの人に受けつがれてきた音があります。
- ひとつひとつ手づくりされる楽器も多く、同じ物は二つとありません。
- 自然の材料から生まれる、あたたかい音色があります。

やってみよう

1. 和楽器のどんなところに魅力を感じますか。

ワンポイント 同じ種類の楽器でも、木の目や職人の技によって、少しずつ音がちがいます。

書いて覚えよう

Lesson 19

好きな和楽器をえらぶ

気になる和楽器を1つ見つけてみよう。

気になる和楽器	
理由	
聴いてみたい曲・場面	

Ken の例

気になる和楽器 和太鼓／理由 力強い音にひかれたから／聴いてみたい場面 お祭りの演奏

ポイント

- ここまで出てきた和楽器の中から、気になるものを1つえらんでみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの和楽器の音をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	楽器A	楽器B
音の高さ	高め・ふつう・低め	高め・ふつう・低め
音の長さ	長くのびる・短い	長くのびる・短い
感じ	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 2つの和楽器の音を聴きくらべると、それぞれの特徴がよくわかります。
- 動画やCDなどで、実際の音を聴いてから書いてみましょう。

やってみよう

1. 好きな和楽器を2つえらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

やってみよう・みんなで練習

まねっこ遊びで、リズムに親しもう。

A （手拍子）タン・タン・タン・ウン

B （まねして）タン・タン・タン・ウン

A （和太鼓の口唱歌で）ドン・カッ・ドン・ウン

B （まねして）＿＿＿＿＿＿＿＿

A （新しいリズムで）＿＿＿＿＿＿＿＿

B （まねして）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- Aがリズムを出し、Bがまねをする「まねっこ遊び」です。
- 口唱歌のように、声に出しながらやるとリズムを覚えやすくなります。

ワンポイント うまくそろわなくても大丈夫。相手の音をよく聴くことが、合わせるいちばんの近道です。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

名前が覚えられない
似た名前の楽器が多い

音色の聞き分けが難しい
似た響きに感じる

興味を持続しにくい
知らない世界に感じる

コツ

こうしてみよう

絵や写真とセットで覚える
形の特徴をつかむ

何度も聴きくらべる
耳が慣れてくる

1つの楽器にしぼって調べる
好きから広げる

ポイント

- 一度にすべて覚えようとせず、気になる楽器から少しずつ知っていきましょう。

やってみよう

1. あなたがいちばん覚えにくいと感じる和楽器は？ _____
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

楽器の種類

- ☐ **弦楽器**
  糸や弦をはじく・こする楽器
- ☐ **管楽器**
  息をふきこむ楽器
- ☐ **打楽器**
  たたいて音を出す楽器

楽器の言葉

- ☐ **音色**
  楽器ごとの音の感じ
- ☐ **調弦**
  弦の高さを合わせること
- ☐ **合奏**
  複数の楽器で一緒に演奏すること

代表的な和楽器

- ☐ **箏**
  13本の弦を持つ楽器
- ☐ **三味線**
  3本の糸を持つ楽器
- ☐ **和太鼓**
  皮を張った打楽器

記譜の言葉

- ☐ **文化譜**
  三味線の楽譜
- ☐ **口唱歌**
  声で覚えるリズム
- ☐ **柱（じ）**
  箏の弦を支える道具

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、演奏会や本の中身がぐっとわかりやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 楽器と説明を線でむすぼう

箏	●	● ア. 皮を張った打楽器
三味線	●	● イ. 竹でできた縦笛
尺八	●	● ウ. いくつもの音を同時に鳴らせる楽器
和太鼓	●	● エ. 13本の弦を爪ではじく楽器
笙	●	● オ. 3本の糸をばちで鳴らす楽器

2. 正しいほうに○をつけよう

1. 弦がふるえて音が出る楽器は → （ 弦楽器 ／ 管楽器 ）
2. 息をふきこんで音を出す楽器は → （ 弦楽器 ／ 管楽器 ）

3. ○か×か答えよう

1. 笙は同時にいくつかの音を鳴らせる → （ ○ ／ × ）
2. 三味線は4本の糸を持つ → （ ○ ／ × ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	弦楽器・管楽器・打楽器を分けられる	楽器の分類
☐	和楽器を3つ以上名前を言える	知識
☐	和楽器の音色のちがいに気づける	聴く力
☐	和楽器の数え方を1つ言える	豆知識
☐	気になる和楽器を見つけた	興味

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、和楽器にふれよう。

聴く
動画や音源で和楽器の音を探して聴く

見る
写真や図鑑で楽器の形をくらべる

まねる
手拍子で口唱歌のリズムをまねる

調べる
気になる楽器を1つ調べてみる

話す
家族に知っている和楽器を聞いてみる

書く
和楽器ノートに気づいたことを書く

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

気になった和楽器を、人に伝えてみよう。

気になった和楽器	
音色の感じ	
聴いてみたい場面	
伝えたい人	

Emma の例

気になった和楽器 尺八／音色の感じ 息の音が混じって深い／聴いてみたい場面 静かな夜／伝えたい人 家族

感想を3文で書こう

① この楽器は、〜な音がしました。② とくに、〜のところが気に入りました。③ それは、〜だからです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

和楽器の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で
和楽器の図鑑や本を探す

演奏会へ
地域のコンサートに行く

博物館で
本物の楽器を見る

次のステップ

箏
くわしいしくみと弾き方

三味線
くわしいしくみと弾き方

尺八・篠笛
吹き方のちがい

ポイント

- この教材の次は、それぞれの和楽器をもっとくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 和楽器とは、どんなものですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 3つの分類の中で、いちばん気になったのは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから知りたい和楽器は？＿＿＿＿＿＿＿＿

和楽器ミッションカード

MISSION 1
気になる和楽器の音を動画で聴く

MISSION 2
口唱歌のリズムを家族とまねっこする

MISSION 3
和楽器ノートを2回書く

MISSION 4
知った和楽器を友だちに紹介する

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 34

和楽器の種類チャレンジ

教室の外でも、和楽器にはすぐ出会えます。

見つけよう

身のまわりで**和楽器の音**が聞こえる場所を探す

聴こう

気になる和楽器の音を**動画**で1つ聴く

調べよう

和楽器を1つえらんで**特徴**を書き出す

こたえ

L26 箏→エ 三味線→オ 尺八→イ 和太鼓→ア 笙→ウ　2. 弦楽器 ／ 管楽器　3. ○ ／ ×

L33 （例）日本で古くから使われてきた楽器。

書いて覚えよう

和楽器の種類（Season 7 ｜ No.62）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。